

○ 前回からの変更点

令和2年2月7日開催 第1回江田島市行財政改革審議会 以降の変更点							
番号	修正元	概要	ページ	項目	修正前	修正後	修正理由
1	パブリックコメント	語句追加	1	1 はじめに	その結果として、合併時に比べ、職員数は約31.6%減となる166人の減、地方債残高は約23.5%減となる56億117万円の減となり、本市の貯金である財政調整基金残高は約945%増の50億869万円の増となりました。	その結果として、合併直後の平成17年度に比べ、平成30年度では職員数は約31.6%減となる166人の減、一般会計の地方債残高は約23.5%減となる56億117万円の減となり、本市の貯金である財政調整基金残高は約945%増の50億869万円の増となりました。	「職員数(166人減)、地方債残高(56億117万円減)、財政調整基金残高(50億869万円増)の合併時と比較する年度を付記してはどうか。また、地方債は一般会計、特別会計、企業会計のすべてを含んでいるかも付記してほしい。」という御意見を反映しました。
2	パブリックコメント	語句追加	1	1 はじめに	(文章の下部)	参考として、平成17年度と平成30年度の比較表を挿入	「比較表を付すとわかりやすいと思います。」という御意見を反映しました。
3	パブリックコメント	語句追加	2	2 これまでの取組 (1) これまでの行財政改革の取組	第1次江田島市行財政改革大綱 ・定員適正化計画に基づく職員数の削減 第2次江田島市行財政改革大綱 ・「定員適正化計画」に基づく職員数の削減 第3次江田島市行財政改革大綱 ・「定員適正化計画」に基づく職員数の削減	第1次江田島市行財政改革大綱 ・定員適正化計画に基づく職員数の削減(▲74人) 第2次江田島市行財政改革大綱 ・定員適正化計画に基づく職員数の削減(▲70人) 第3次江田島市行財政改革大綱 ・定員適正化計画に基づく職員数の削減(▲22人)	「職員数の削減については、数値を盛り込むなどの工夫が必要ではないか。」という御意見を反映しました。
4	行財政改革審議会 委員指摘事項	数値修正	2	2 これまでの取組 (1) これまでの行財政改革の取組	第3次江田島市行財政改革大綱 財政効果額 5億7,785万円	第3次江田島市行財政改革大綱 財政効果額 5億5,223万円	3 民間活力や住民パワーの活用 交通船事業において、平成27年度の退職給付費負担金が反映されていないのではないかという御指摘があり、再精査した上で、効果額を1,613万円減額しました。 4 組織及び財政のスリム化 財産売却収入において、手数料などの諸経費を差し引いていないのではないかという御指摘があり、再精査した上で、測量登記委託料や不動産鑑定委託料などを差引き、効果額を949万円減額しました。
5	行財政改革推進本部会議 委員指摘事項	語句追加	2	2 これまでの取組 (1) これまでの行財政改革の取組	・1地区1施設を基本とした交流プラザの整備と施設の統廃合	・1地区1施設を基本とした集会所の再編整備	番号12の修正により、表現を修正しました。
6	行財政改革推進本部会議 委員指摘事項	語句追加	2	2 これまでの取組 (1) これまでの行財政改革の取組	・未利用遊休財産の売却等の促進	・未利用財産の積極的な処分の推進	番号13の修正により、表現を修正しました。

番号	修正元	概要	ページ	項目	修正前	修正後	修正理由
7	行財政改革推進本部会議委員指摘事項	語句追加	2	2 これまでの取組 (1) これまでの行財政改革の取組	(第3次行財政改革大綱の主な取組項目)	項目の並び順を変更しました。	P.3のAの並び順と整合を取るため、Aに挙げていない項目を下にしました。
8	行財政改革推進本部会議委員指摘事項	語句追加	3	(2) 第3次行財政改革における成果と課題	A 主な成果	A 成果のあった主な項目	「イ 課題となった主な項目」と表題の整合を取りました。
9	行財政改革推進本部会議委員指摘事項	語句追加	3	(2) 第3次行財政改革における成果と課題	A 主な成果 (成果のあった主な8項目)	A 成果のあった主な項目 項目の並び順を変更しました。	P.2の第3次行財政改革大綱の主な取組項目の並び順と整合を取るため、並び順の入れ替えを行いました。
10	行財政改革推進本部会議委員指摘事項	語句追加	3	(2) 第3次行財政改革における成果と課題	A 主な成果 ・ 定員適正化計画に基づき、職員数を18人削減しました。	A 主な成果 ・ 定員適正化計画に基づき、職員数を22人削減しました。	平成27年度と平成30年度との比較であったため、平成26年度と平成30年度との比較数値に修正しました。
11	行財政改革推進本部会議委員指摘事項	語句追加	3	(2) 第3次行財政改革における成果と課題	A 主な成果 ・ 保育施設の統廃合を進め、人件費・物件費・維持補修が減少しました。	A 成果のあった主な項目 ・ 保育施設及び小学校の統廃合を進め、人件費・物件費・維持補修が減少しました。	柿浦小学校の統廃合を実施していることから、小学校を追加しました。
12	政策推進課指摘事項	語句追加	3	(2) 第3次行財政改革における成果と課題	A 主な成果 ・ 地元合意のもと、集会所は1地区1施設を基本とし、交流プラザを整備し施設の統廃合を行いました。	A 成果のあった主な項目 ・ 集会施設は1地区1施設を基本に集約し、安全性と利便性を備えた施設に再編整備しました。	成果がより分かりやすい表現に修正を行いました。
13	政策推進課指摘事項	数値修正	3	(2) 第3次行財政改革における成果と課題	A 主な成果 ・ 未利用遊休財産の売却を促進し、売払収入が増加しました。	A 成果のあった主な項目 ・ 未利用財産の積極的な処分を推進し、財産の有効活用と売却収入を確保しました。	成果がより分かりやすい表現に修正を行いました。
14	事務局修正	語句修正	4	(1) 人口減少と少子高齢化	なお、令和2年1月の住民基本台帳人口は22,932人で、高齢化率は43.6%となっています。	なお、令和2年3月の住民基本台帳人口は22,817人で、高齢化率は43.7%となっています。	3月1日現在の外国人含む人口が公表されたため、数値を入れ替えました。
15	パブリックコメント	グラフ修正 注釈追加	4	(1) 人口減少と少子高齢化	○ 国勢調査における人口と高齢化率の推移	(グラフに参考として、R2.3.1現在の人口及び高齢化率を追加し、グラフ欄外に注釈を記載しました。)	「国勢調査ではH27年度までの数値であり、文章だけでなくグラフにも計画策定時(令和2年3月)の人口及び高齢化率を付記してはどうか。」という御意見を反映しました。
16	パブリックコメント	語句追加 グラフ修正	4	(1) 人口減少と少子高齢化	○ 将来予測((国立社会保障・人口問題研究所による推計)	○ 将来予測((国立社会保障・人口問題研究所による平成30(2018)年推計) (グラフに高齢化率の折れ線グラフを追記しました。)	「社人研の何年の推計値か付記すべき。また、高齢化率も推計値が出ているので折れ線グラフを入れてください。」という御意見を反映しました。
17	パブリックコメント	語句追加	5	(2) 厳しい財政状況	○ 市債残高の推移	○ 市債残高の推移(一般会計)	一般会計のみであることを明記しました。
18	パブリックコメント	イメージ図追加	6	(2) 厳しい財政状況	○ 普通交付税の推移 ※ 合併特例加算とは	(合併特例加算の説明書きの下に、合併特例加算の縮減イメージ図を追加しました。)	「普通交付税の合併特例加算措置の仕組みは、一般市民にはわかりにくいのでイメージ図を付すことで分かりやすくしてほしい。」という御意見を反映しました。
19	事務局修正	語句修正	10	(4) 基本方針と取組項目	基本方針①～③の各項目 (例) ・ 事業評価に基づく事務事業の選択と集中	基本方針①～③の各項目 (例) ○ 事業評価に基づく事務事業の選択と集中	11ページ以降と整合させるため、「・」を「○」に変更しました。
20	市長指摘事項	語句修正	10	基本方針② 効果的・効率的な行政運営	○ 業務の適正化とそれに見合った組織体制づくり	○ 業務の適正化に見合った組織体制づくり	No.11での内容変更を踏まえ、表題の記載を修正しました。

番号	修正元	概要	ページ	項目	修正前	修正後	修正理由
21	事務局修正 市長指摘事項	語句修正	12	基本方針② 効果的・効率的な行政運営	○ 業務の適正化とそれに見合った組織体制づくり 事業評価の取組について、本市ではまだ確立されているとは言えない状況にあります。 事業評価を適切に行い、その中で効果の薄い、または効率の悪い事務事業については、縮小または廃止していくなど、不要な業務の削減に取り組んでいきます。 また、業務に見合った組織体制づくりと人役配分を行っていく中で、人員の適正化に努めていきます。	○ 業務の適正化に見合った組織体制づくり 多様化する市民ニーズや課題に対応するため、柔軟かつ迅速に対応できる組織体制の構築を行うとともに、業務に見合った組織体制となるよう、人員の適正化に努めていきます。 また、会計年度任用職員についても、適正に配置していきます。	「基本方針① 健全で持続可能な財政運営」の「○ 事業評価に基づく事務事業の選択と集中」に記載すべき内容が、こちらにも重複して記載されていることから、重複する部分を削除するとともに、会計年度任用職員についての記載を加えました。 また、その内容を踏まえ、表題の記載を修正しました。
22	パブリックコメント	語句追加	12	基本方針② 効果的・効率的な行政運営	○ 行政経営の視点による事務改善の実施 第3次行財政改革において新たに実施した事務事業評価について、取組内容を見直し、課題や効果がより具体的に整理できるようにした上で、事務改善に役立てられるよう仕組みづくりを進めていきます。	○ 行政経営の視点による事務改善の実施 第3次行財政改革において新たに実施した事務事業評価については、平成28年度から実施したものの、職員の負担が増加し、効果的な活用に至っていないのが現状です。 このため、取組内容を見直し、課題や効果がより具体的に整理できるようにした上で、事務改善に役立てられるよう仕組みづくりを進めていきます。	「第3次行財政改革大綱で行ってきた『事務事業評価』の進捗状況を書き込み、第3次大綱で掲載したイメージ図の第4次版を付記することで分かりやすくなる。」という御意見について、事務事業評価の進捗状況を追記しました。
23	パブリックコメント	語句追加	12	基本方針② 効果的・効率的な行政運営	○ アウトソーシング及び次世代行政サービスの導入 アウトソーシングに関しては、第3次行財政改革において積極的な利用を重点項目にしており、検討を行っている状況です。	○ アウトソーシング及び次世代行政サービスの導入 アウトソーシングに関しては、第3次行財政改革において積極的な利用を重点項目に検討を行っており、平成28年3月に江田島市アウトソーシング基本方針を、平成30年12月に江田島市指定管理者モニタリングマニュアルを、それぞれ策定したところです。	「アウトソーシングについては、平成28年3月に基本方針を策定したこと、また、指定管理者のモニタリングマニュアルを平成30年12月に策定したことも注釈で付記してはどうか。」という御意見を反映しました。
24	行財政改革審議会 委員指摘事項	語句追加	15	(3) 実施計画の策定	なお、取組に際しては、目標を明確化し、取組の成果や課題が明確になるよう、できるだけ数値目標を設定した上で、毎年度、進捗状況を確認していきます。	なお、取組に際しては、目標を明確化し、取組の成果や課題が明確になるよう、できるだけ数値目標を設定した上で、毎年度、進捗状況を確認し、市ホームページ等で公表していきます。	行財政改革の取組状況の「見える化」について、大綱に盛り込んでいくべきではないかという御意見がありましたので、実施計画の策定の欄に、進捗状況を公表する記述を追加しました。
25	行財政改革推進本部会議 委員指摘事項	語句修正	16	6 行財政改革の進め方 (4) 進行管理	行財政改革審議会での審議内容については、要点録を作成し、審議会配付資料とともに市ウェブサイトへ後日掲載し、広く市民等へ公表していきます。	行財政改革審議会での審議内容については、要点録を作成し、審議会配付資料とともに市ホームページへ後日掲載し、広く市民等へ公表していきます。	P.15(3) 実施計画の策定 の文中にある「市ホームページ」の語句と整合を取るため、修正しました。